



2025 年 12 月 22 日

報道機関 各位

岐阜大学医学部附属病院と株式会社 nonat の共同研究を開始します 女性・子供に特化した基盤モデルの研究開発加速へ

岐阜大学医学部附属病院(病院長:秋山治彦、産科婦人科学 教授:磯部真倫)は株式会社 nonat(本社:岐阜県、代表取締役:伊藤敬佑)と共同研究を開始することをお知らせいたします。

本共同研究は、女性・子供に特化した AI 基盤モデルの研究開発を進め、女性および子供の医療課題の解決を目指すものです。第一弾として妊娠期に焦点を当て、AI を活用した妊娠モニタリング技術の確立と将来的なサービス提供につなげます。

また本研究は、医療法人セントポーリア 操レディスホスピタル(所在地:岐阜、院長:高野恭平)とも連携した多施設共同研究として実施します。複数施設の臨床データや知見を統合し、多様な対象者データ(母集団特性)を拡充することで、モデルの精度と汎用性の向上を図ります。

【共同研究の背景】

近年、医療現場では診療業務が高度化・複雑化する一方、産婦人科や小児科の領域では、医療資源の地域偏在やケアの質の差といった課題が顕在化しています。株式会社 nonat は、女性・子供に特化した AI 基盤モデルを中核技術として、医療現場の意思決定支援やケアの質向上につながるソリューション開発を進めています。

【共同研究の目的】

本共同研究の主な目的は以下の 3 点です。

1. 基盤モデル開発に必要な母集団特性の拡充

女性・子供領域に特有の臨床背景や年齢層、生活背景などを反映した多様なデータ特性を取り込み、モデルの汎用性を高めます。

2. 研究開発サイクルの加速

臨床研究で得られる知見を迅速にモデル改善へ反映し、実用性の高い基盤モデル開発を推進します。

3. 多施設共同研究による検証範囲の拡大

岐阜大学病院および操レディスホスピタルと連携し、複数施設で検証を行うことで、実臨床での有効性評価を強化します。

Press Release

■ 岐阜大学医学部附属病院 産婦人科 磯部真倫教授のコメント

岐阜県という地方だからこそ、「女性と子供の医療 DX モデル」を世界に提示する価値があると考えています。特に飛騨地域をはじめとした広域な医療圏では、医療アクセスや支援体制の課題が顕在化しており、DX の実装こそが医療の質を守る重要な手段となります。

今回の取り組みは、単なる AI 開発にとどまらず、臨床現場・医療政策・患者の生活をつなぐ“実装型研究”です。岐阜大学医学部附属病院は、飛騨地域との連携も視野に入れ、多施設共同研究を通じて地域医療の新たなモデルケースを構築してまいります。

女性・子供の医療を支える人々の力になれるよう、実学に立脚した研究と社会実装を強く推進し、岐阜から全国・世界へ発信できる医療の未来を切り拓いていきたいと考えています。

■ 株式会社 nonat 代表取締役 伊藤敬佑 コメント

この度、岐阜大学医学部附属病院様と共同研究を開始できることを大変嬉しく思います。臨床現場のリアルな課題と向き合いながら、女性・子供に特化した AI 基盤モデルの研究開発をさらに前進させてまいります。

多施設共同研究として複数の医療機関様とも連携することで、より幅広い母集団特性を取り込み、弊社のイノベーションの効果的な社会実装へつながるものと考えています。今回の取り組みを通じて、医療現場と患者様双方にとって価値ある成果を創出できるよう尽力してまいります。

【お知らせ:研究開発支援サービス(MIKAZUKI)について】

現在、株式会社 nonat では、研究者向け開発プラットフォーム構築支援サービス「MIKAZUKI(ミカヅキ)」を提供しています。

臨床現場における AI 研究が盛んになった現在も不足する「簡単・未加工・高品質」な生体データを、スマートフォンと各種生体センサーを中心とした軽量の構成で取得できる点が特徴です。

心拍・呼吸・体温などの生体データをベッドサイドでも簡単に、かつリアルタイムで取得・保存できる仕組みを、お客様の研究テーマやセンサー仕様に合わせてカスタム設計・開発し、臨床研究や医療 AI 開発に必要なデータ収集を効率化します。

<https://nonat-home.com/mikazuki/>

■ 報道機関からのお問い合わせ

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科 教授 磯部真倫
メール: san@t.gifu-u.ac.jp

株式会社 nonat <https://nonat-home.com/>
メール: info@nonat.co.jp